

農地・水・環境保全向上対策が始まっています

農地・水・環境保全向上対策による地域共同活動の推進

農業の営みは、単に食料を安定的に供給するだけでなく、洪水を防ぎ地下水を涵養するなどの多面的な機能を有しており、農地や農業用水路などの施設は、こうした多面的な機能を支えるとともに、美しい農村景観と多様な生態系も支える国民共有の財産となっています。農業者の高齢化と担い手不足、さらには都市住民との混住化は、農業の営みを支えてきた集落での共同活動の維持を困難なものにしています。このため、平成19年度から、農業者だけでなく自治会、学校、NPO等の地域住民も参加した活動に対して支援する「農地・水・環境保全向上対策」が始まっています。「農地・水・環境保全向上対策」では、農地や農業用水路などでの維持・保全のための共同活動や農村環境の保

全のための共同活動に対して支援を行うとともに、水田ビオトープの設置など、さらに質の高い共同活動に対してはステップアップ支援が促進費として加算されています。また、地域全体で化学肥料を大幅に軽減するなどの環境により配慮した共同活動については、さらなる営農活動への支援が実施されています。

活動組織数	17,065
取組面積	1,158千ha

※平成19年8月31日現在

農地・水・環境保全向上対策の概要



さらに環境にやさしい農業を実施

さらに活動をステップアップ

営農活動への支援

左記の共同活動に加えて、

- 地域全体の農業者により環境負荷低減に向けた取組を行った上で、
- 地域でまとまって化学肥料や化学合成農薬を5割以上低減するなどの先進的な取組を行った場合、取組農家に配分可能な交付金を交付。



促進費

活動の質をさらにステップアップさせる取組に対し、促進費を交付。

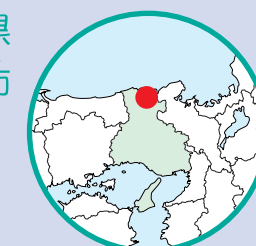


資料:農林水産省作成

事例紹介

コウノトリも共に生きる生態系豊かな水田づくり

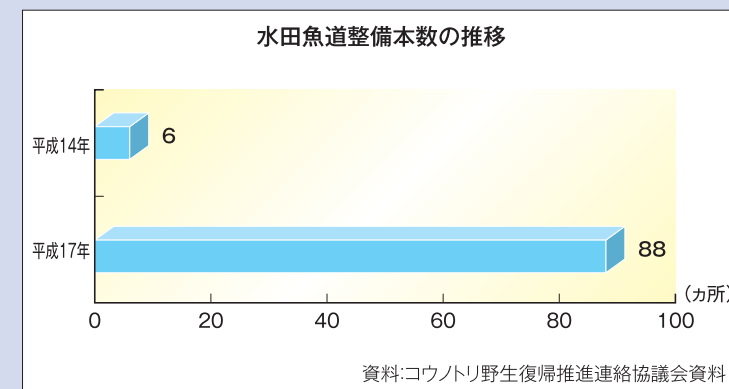
兵庫県
とよおかし
豊岡市



◆コウノトリの野生復帰に向けて、その餌となるドジョウが生息できるように、水田と排水路をつないだ水田魚道を整備しました



水田に設置された魚道
(写真提供:兵庫県但馬県民局地域振興部豊岡土地改良事務所)



◆減農薬・無農薬栽培等を推進し、生態系に配慮した水田づくりにより、コウノトリも住めるかつての風景がよみがえりました

豊岡市は、「農地・水・環境保全向上対策」の着手に先駆けて平成18年度のモデル支援事業地区になっています。



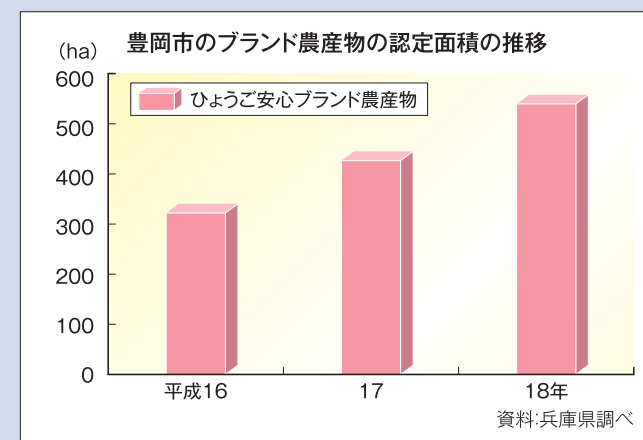
コウノトリの郷公園周辺 (写真提供:兵庫県但馬県民局地域振興部豊岡土地改良事務所)



コウノトリのヒナと親鳥

◆生態系への配慮から安全・安心ブランド

減農薬・減化学肥料などの「ひょうご安心ブランド」の認定基準に準拠し、さらに生態系に配慮した水田でのブランド米の栽培が進んでいます。



ひょうご安心ブランド米